

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会

令和元年度 社会福祉法人大槌町社会福祉協議会事業報告

概 要

令和元年度大槌町社会福祉協議会事業活動は、大槌町地域福祉推進計画の基本理念である「支え、支えられ、安心と生きがいを育む 地域福祉」を達成するため、5つの基本目標のもと各種事業に取り組みました。

震災後9年を経過した被災者支援活動は、生活支援相談員、仮設支援員、サポートセンター職員が見守り活動、相談支援活動、地域での新しいコミュニティ作りを住民や関係機関と連携しながら進めてまいりました。

介護保険事業では、入院や施設入所が目立ち、在宅サービス利用者の減少等による介護報酬の減収が見られますが、職員一同利用者に満足していただけるサービスの提供に努めました。

また、大槌町の老人福祉計画・第7期大槌町介護保険計画に基づく地域密着型サービス事業として、小規模多機能型居宅介護事業所「ハイス こづち」の建設整備を実施しました。

障がい福祉サービス事業では、就労継続支援等の必要な訓練を実施することにより、利用者サービスの充実に努めました。

重点事項（大槌町社会福祉協議会地域福祉活動計画 基本目標）

基本目標1 一番身近で、頼りになるコミュニティづくり

◇地域コミュニティの再生(自治会・町内会の立ち上げ)

① 地域交流用具等の貸出し

地域住民の交流や、自治会・町内会の立ち上げに資するため、地域交流用具等の貸し出しを行いました。

主な貸出し物品：テント、長机、パイプイス、キャンプ机、キャンプイス等

貸出し件数：78件

内訳	件数	内容	件数
自治会	15件	福祉施設	2件
NPO・ボランティア団体	16件	郷土芸能団体・老人クラブ・スポーツ少年団	7件
企業・一般社団法人	8件	住民有志	13件
学校・公民館	7件	町役場	10件

◇住民支え合い体制の構築

② 地域介護予防活動支援事業（お茶っこの会）*町の補助事業

地域の高齢者が、生きがいと元気に暮らすきっかけを見つけ、互いに交流することで地域への関心を深め、近隣での助け合いを育む地域づくりを目指して、お茶っこの会を支援しました。

年度	開催箇所数	開催回数	参加人数
H29	19 地区	147 回	3,339 人
H30	16 地区	128 回	3,390 人
R1	16 地区	123 回	3,350 人

③ 地域介護予防活動支援事業(ふれあい昼食会) *町の委託事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、高齢者の食生活改善や地域の人々とのふれあいを広げ、在宅福祉の増進を図ることを目的に町内のお茶っこの会とあわせて開催しました。

年度	開催箇所数	開催回数	参加人数
H29	5 地区	8 回	278 人
H30	6 地区	6 回	189 人
R1	5 地区	6 回	204 人

④ 地域交流サロン

生活支援相談員によるサロン活動 94回 851人参加

開催月	回数	参加人数	開催月	回数	参加人数
H31. 4	12 回	169 人	R1. 10	6 回	30 人
R1. 5	8 回	77 人	R1. 11	6 回	30 人
R1. 6	9 回	88 人	R1. 12	9 回	67 人
R1. 7	9 回	88 人	R2. 1	8 回	60 人
R1. 8	7 回	69 人	R2. 2	9 回	74 人
R1. 9	11 回	99 人	R2. 3	0 回	0 人

※令和2年3月のサロンは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

⑤ 住民支え合いマップづくり

「地域のつながり、支え合いについて話し合う場」として町内9ヶ所で行いました。

No.	場 所	開催日	内 容	参加者
1	安渡(古学校)地区	R1. 7. 29	支え合いマップ作成会	11 人
		R1. 10. 7	課題報告会	17 人
2	沢山(夏本団地)地区	R1. 9. 5	支え合いマップ作成会	16 人
		R1. 11. 22	課題報告会	12 人
3	寺野・臼澤第3公営住宅	R1. 9. 9	支え合いマップ作成会	11 人
		R1. 9. 18	課題報告会	10 人
4	吉里吉里3丁目	R1. 9. 14	支え合いマップ作成会	15 人
		R1. 11. 9	課題報告会	18 人
5	長井地区	R1. 10. 20	支え合いマップ作成会	7 人

		R1. 11. 17	課題報告会	6人
6	寺野・臼沢(高清水団地)地区	R1. 11. 5	支え合いマップ作成会	11人
		R2. 3. 24	課題報告会	延期
7	小枕地区	R1. 11. 30	支え合いマップ作成会 ※作成のみ	11人
8	源水地区	R2. 1. 27	支え合いマップ作成会	15人
		R2. 3. 4	課題報告会	延期
9	寺野・臼沢地区第1・2公営住宅	R2. 1. 30	支え合いマップ作成会	14人
		R2. 2. 27	課題報告会	10人

※ 3月の「課題報告会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催延期

基本目標 2 地域福祉の担い手づくり

◇福祉教育の推進・地域福祉のスキルアップ

① 社会福祉大会

日時：令和元年11月16日（土）午後1時30分～午後3時30分

場所：大槌町文化交流センターおしゃっち 多目的ホール

後援：大槌町、大槌町教育委員会、岩手県沿岸広域振興局

表彰者：1団体・22人

（社会福祉事業功労者5人、ボランティア活動団体1団体、共同募金運動功労4人、永年勤続功労者13人）

記念講演：演題『楽しく学べる成年後見制度落語～後見爺さん～』

講師 桂 ひな太郎さん

トークセッション

釜石・遠野地域成年後見センター センター長 石田 正子さん

小規模多機能ホームやかた 代表 松田 宇善さん

② 福祉協力校事業

大槌町内の小・中・高等学校を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会の啓発を図ることを目的として社会福祉協力校事業を推進しました。町内4校（大槌学園・吉里吉里学園小学部・吉里吉里学園中学部・大槌高等学校）を指定し、各校に活動費として5万円を助成しました。

区分	学校名	主な活動内容
広報・啓発活動	大槌高等学校	・ぼうさい甲子園、神戸大研究発表会参加
	大槌学園	・学年通信、保健だよりで広報
	吉里吉里学園小学部	・学校だより、学年通信の発行
調査・研究活動	大槌学園	・防災「守ろう 大槌」フィールドワーク
体験学習を目的	大槌高等学校	・豊中市社会福祉協議会との本校に来校しての交流

とした実践活動		<ul style="list-style-type: none"> ・神戸市大学主催の研究発表会で発表 ・上町県営アパート ベンチ・テーブル制作に参加
	大槌学園	<ul style="list-style-type: none"> ・新巻鮭づくり 7・8年生
	吉里吉里学園中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム 三陸園訪問（合唱披露） ・PTA わかめ芯裂き作業体験（漁協女性部）
	吉里吉里学園小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム 三陸園訪問 ・釜石祥雲支援学校との交流
社会福祉関係行事への参加	大槌高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭売り上げの一部を歳末たすけあい募金寄付
	大槌学園	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金活動 ・台風19号募金活動
	吉里吉里学園小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会による赤い羽根共同募金活動の実施
社会福祉協力校相互間の交流	大槌高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・大槌学園、吉里吉里学園と生徒発表を通じて交流
	大槌学園	<ul style="list-style-type: none"> ・大槌高校との交流会
	吉里吉里学園小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・学園合同（小学部、中学部）の下校避難訓練
その他	大槌高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外高校との交流（八日市南高校、東京白百合学園等）
	吉里吉里学園小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・防災週間における「心のサポート」授業

③ キャップハンディ体験教室

- ・日時：令和2年2月12日（水）午前10時30分～12時10分
- ・内容：【体験】白杖・ガイドヘルプ体験、車いす体験（大槌学園4年生62名）
【協力】キャップハンディ体験サポーター 3人

④ 出前講座

生活支援相談員がお茶っこの会に出向き、ふまねっと運動やレクリエーションなどを行いました。

No.	実施日	会場	内容
1	H31. 4. 17	赤浜地区お茶っこの会	昭和クイズ
2	R1. 5. 23	赤浜地区お茶っこの会	ふまねっと運動
3	R1. 5. 29	浪板地区お茶っこの会	ふまねっと運動
4	R1. 6. 19	赤浜地区お茶っこの会	ふまねっと運動
5	R1. 7. 18	桜木町地区お茶っこの会	すき焼きゲーム、軽運動
6	R1. 10. 17	桜木町地区お茶っこの会	すき焼きゲーム、軽運動
7	R1. 11. 20	赤浜地区お茶っこの会	レクリエーション
8	R1. 11. 28	金沢地区お茶っこの会	うたごえサロン
9	R1. 11. 29	沢山地区お茶っこの会	レクリエーション

10	R1. 11. 29	源水地区お茶っこの会	うたごえサロン
----	------------	------------	---------

◇ボランティアの活動支援と育成

⑤ 町民ボランティア登録者数 引越し：8人 雪かき：29人

⑥ ボランティアの活動支援

令和元年度ボランティア受入数 99団体 307人

内容	人数	内容	人数
住民交流イベント	135人	屋内清掃	10人
草刈り	55人	台風19号被害に係る 土砂片づけ	28人
屋外清掃	79人		

⑦ ボランティア保険加入促進

保険種類		令和元年度		平成30年度	
ボランティア活動保険	Aプラン	19件	455人	22件	358人
	Bプラン	3件	11人	1件	6人
	天災Aプラン	8件	50人	3件	3人
	天災Bプラン	0件	0人	1件	1人
ボランティア行事保険	A1プラン	52件	3,051人	61件	3,580人
	A2プラン	3件	240人	2件	230人
福祉サービス総合補償		3件	105人	2件	83人
送迎サービス補償		1件	8人	1件	8人

◇ボランティア団体の連絡協議会の運営支援

⑧ 大槌町NPO・ボランティア団体連絡協議会の運営

- ・参加団体数：16団体
- ・総会：1回
- ・会議：4回（3.11実行委員会）
- ・交流研修会：1回 ボランティアセンター事業「憩いの場づくり」と合同で実施
- ・イベント等：4回

実施日	内容	会場
R1. 10. 27	「おおつち産業まつり」への参加	おしゃっち駐車場
R1. 11. 30	盛岡市ボランティア団体協議会との交流会	おしゃっち 多目的ホール
R2. 1. 26	メッセージ作成会	シーサイドタウンマスト
R2. 3. 11	3.11集い～灯火～	シーサイドタウンマスト 1階セン

	(プラコップ灯ろうとメッセージ展示)	ターコート、おしゃっち 1階 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため屋外イベント中止
--	--------------------	--

◇福祉・介護の担い手の育成と確保

⑨ ボランティア研修会の開催

「ボランティア倶楽部」の名称で町民を対象とした研修会を開催しました。

・ボランティア倶楽部 1 「憩いの場づくり」

開催日	研修内容
R1. 7. 13	※大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会と合同で実施 ○作業内容 ・城山公園内と散策路の環境整備、つつじの剪定、枝切り作業 ○昼食交流会 ・調理者：安渡婦人会 3 人、釜石地区更生保護女性の会大槌地区 3 人 ○対象者：中学生以上 ○開催場所：城山公園（社協裏） ○参加人数：27 人 内訳：ボラ連 10 人、トヨタ自動車 5 人、町民 1 人、大学生 11 人、社協 4 人

・ボランティア倶楽部 2 「キャップハンディ体験サポーター養成研修」

開催日	研修内容
R1. 7. 20	○座学：障がいとは？ ○体験：車いす体験・介助、白杖体験・介助、ミキサー食・ムース食・とろみ食の試食 ○講師：四季の郷 理学療法士、本会職員 ○対象：中学生以上 ○場所：大槌町文化交流センター「おしゃっち」多目的ホール ○参加人数：10 人 内訳：ボラ連会員 10 人

・ボランティア倶楽部 3 「自然あそび」

開催日	研修内容

R1. 8. 31	<p>○体験：ツリークライミング体験、薪割り体験、昔あそび</p> <p>○指導者：ツリークライミング®ジャパン 3 人</p> <p>○見守り補助：NPO 法人吉里吉里国 7 人、NPO 法人つどい 1 人、老人クラブ 1 人</p> <p>○調理者：大槌町赤十字奉仕団 2 人、釜石地区更生保護女性の会大槌地区 4 人</p> <p>○対象者：町内小学生</p> <p>○場所：NPO 法人吉里吉里国敷地内</p> <p>○参加人数：30 人</p> <p style="padding-left: 20px;">内訳：一般 12 人（子ども 9 人、大人 3 人）、ボラ連 14 人、老人クラブ 1 人、講師 3 人</p>
-----------	---

ボランティア倶楽部 4 「防災ボランティア研修会」

開催日	研修内容
R2. 2. 22	<p>○講話：誰でもできる地域防災</p> <p>○体験避難所運営ゲーム HUG の体験</p> <p>○ワーク：ワールドカフェ形式による共有・まとめ</p> <p>○昼食：防災食の試食 炊き出し袋を使ったご飯の食べ方の指導、アルファ米の試食</p> <p>○お知らせ：防災ラジオの使用について</p> <p>○講師：大槌町総務部危機管理室 3 人</p> <p>○協力：大槌町赤十字奉仕団 5 人</p> <p>○対象：沢山地区住民</p> <p>○場所：沢山地区集会所</p> <p>○参加者：26 人 内訳：地区住民 17 人、他地区住民 1 人、ボラ連 5 人、講師 3 人</p>

基本目標 3 地域福祉の要となるネットワークと連携体制づくり

◇情報保持・共有体制の確立

① 広報等による情報発信

町民へ社協の事業や様々な福祉情報を知ってもらうため広報を発行しました。

・ 広報の配布実績

配布物	発行回数	発行部数（1回）	配布先
社協会報	3 回（7・11・3 月）	5,000 部	全戸
社協だより	3 回（6・9・1 月）	5,000 部	全戸
おれんじ通信	12 回（毎月 25 日）	4 月～10 月 1,500 部 11 月～3 月 1,300 部	仮設住宅・公営住宅
おひさま便り	3 回（4・8・12 月）	200 部	利用者・関係者
和野っこハウスだより	11 回（毎月 20 日）	100 部	掲示板・仮設住宅

ワークフォローだより	1回（3月）	50部	利用者・関係者
------------	--------	-----	---------

・ホームページ作成事業

社協の広報啓発活動の一環として、インターネット上でホームページを公開しました。

◇保健・医療・福祉など関連団体との連携体制の構築

② 生活支援相談員による定期訪問活動

項目	訪問頻度区分（対象者数）					訪問状況（訪問回数）		
	重点見守り	通常見守り	不定期見守り	不明・その他	計	訪問回数	全戸訪問	配布
H31.4	39	334	820	0	1,203	511	0	1,993
R1.5	31	340	652	0	1,065	554	0	1,106
R1.6	31	338	629	42	1,040	585	183	1,223
R1.7	32	330	636	49	1,047	479	64	1,526
R1.8	32	332	631	42	1,037	510	67	1,378
R1.9	32	331	631	41	1,035	515	23	1,277
R1.10	32	330	622	44	1,028	426	506	1,254
R1.11	31	329	595	44	999	437	82	1,299
R1.12	31	329	590	43	993	489	118	2,764
R2.1	31	325	589	43	988	432	95	1,143
R2.2	31	326	586	43	986	479	80	1,068
R2.3	31	326	568	42	967	488	200	844
計						5,905	1,418	16,875
月平均						492	118	1,406

○地域見守り支援拠点整備事業（こ茶っこ）

地域住民が気軽に立ち寄り、交流の場とすることで地域コミュニティの活性化を図ることを目的に「東日本大震災被災者生活支援事業」の一環として令和元年10月から実施しました。

県営上町アパート集会所に拠点を構え、週4日（火・水・金・土）開所しました。

	開所日数	利用延べ人数	備考
R1.10	17日	178人	
R1.11	18日	225人	
R1.12	16日	289人	
R2.1	16日	274人	
R2.2	17日	262人	
R2.3	0日	0人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉所

計	84 日	1,228 人	
月平均	14 日	205 人	

③ 仮設支援員による定期訪問活動 ※町の委託事業

仮設住宅に住む被災者の見守り活動、生活支援活動を目的に平成 29 年度から町の委託事業として開始した仮設支援員事業は、仮設住宅の閉所に伴い令和元年度で事業終了となりました。

また、仮設住宅入被災者は令和 2 年 3 月末をもって約 10 世帯、目的外入居も約 30 世帯となりました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問件数	348	319	320	316	178	187	175	142	118	107	84	81	2,375
稼働日数	21	20	22	22	18	20	21	19	21	20	18	21	243
イベント	24	22	22	31	25	28	25	25	29	27	23	0	281

④ コミュニティソーシャルワーカーの配置

岩手県社会福祉協議会主催の「コミュニティソーシャルワーカー養成研修会」に職員 2 名が参加し、令和元年度末での研修修了者は 14 人となりました。14 人は所属部署・業務もさまざまですが、研修で得たものを業務に活かしています。

基本目標 4 多様な主体の連携による安心の生活支援サービスづくり

◇福祉サービスの利用促進（情報提供・相談窓口の強化等）

① 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でないために、適切なサービスの提供を受けられない方に対して、自立した地域生活が送れるよう、釜石市社会福祉協議会と連携しながら福祉サービスの利用援助や金銭管理を支援しました。

利用者 6 人（精神障がい者 3 人、認知症高齢者 2 人、その他 1 人）

② 高齢者等サポート拠点（サポートセンター和野っこハウス）の管理運営 ※町の委託事業

東日本大震災で被災した高齢者等に対し、安心した生活を支援することを目的に町から委託を受け、平成 23 年 9 月 1 日に開所された高齢者等サポート拠点「サポートセンター和野っこハウス」は、仮設住宅の閉所に伴い事業終了となりました。8 年 7 ヶ月の間、子供から大人まで幅広い層の住民に利用いただきました。

	福祉事業 デイ	地域交流 事業	総合相談	会議室	入浴	訪問
H29	1,731 人	2,731 人	102 件	72 人	142 回	5,134 回
H30	1,109 人	3,017 人	103 件	3 人	110 回	1,304 回

R1	243人	1,662人	5件	0人	0回	119回
----	------	--------	----	----	----	------

◇多様で適切な福祉サービスの確保・充実

③ 移送サービスの実施（一般乗用旅客自動車運送事業、福祉有償運送事業）

運行実績		地域別		場所別	
登録人数	運行回数	町内	釜石	通院	施設
15名	69回	35名	0名	35名	0名

④ 買物・見守り支援の実施（あんしん助っ人便）

一人暮らし高齢者世帯や身体障がい者世帯等の買い物困難世帯を対象に、買い物代行サービスを実施しました。

登録者	実利用者数	注文件数
12名	2名	21件

⑤ 配食サービスの実施 *町の委託事業

65歳以上の単身世帯等、調理が困難な方に対して、配食サービスを提供することにより、心身の健康の保持及び介護予防並びに居宅生活の自立支援を図ることを目的に実施しました。

町内業者が作ったお弁当を、安否確認も兼ね、職員が配達しています。

実施日数 49日（毎週木曜日の昼食） 登録者平均 16人 食数 687個

⑥ 居宅介護支援事業

（介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャー（介護支援専門員）が心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に沿ってケアプラン（居宅サービス計画）を作成したり、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整を行います。）

新規の利用者は増えた反面、入院する利用者が多い状況でした。その中でも、医療機関との情報共有を図り、利用者の在宅生活が継続できるよう努めてきました。

利用者の入院中に身体状態が悪化し、退院後の在宅生活が難しいとのことで、他の医療機関への転院や施設入所となるケースが見られました。

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
作成件数	101	101	100	100	101	108	106	107	109	106	108	100	1,247	104

(2) 介護予防支援事業（受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
作成件数	4	4	4	4	4	4	5	6	6	6	6	6	59	5

⑦ 訪問入浴介護事業

〔自宅での浴槽での入浴が困難な方に対して、浴槽を積んだ入浴車が利用者の居宅を訪問し、看護職員や介護職員が入浴の介護を行うサービスです。体温、血圧、脈拍等の測定や更衣の介護、利用者の体調に応じて全身浴・部分浴・清拭を行います。〕

利用者の在宅生活の継続・家族の介護負担軽減のため、サービス提供時には利用者向き合い声がけをしながら、不安がないように入浴できるよう配慮しました。

利用者は要介護3～要介護5ということもあり、体調不良や入院等によるサービス中止・終了が多い状況でした。

(1) 訪問入浴介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	10	6	6	5	7	5	7	7	8	6	6	6	79	7
利用回数	34	22	23	26	25	25	29	33	31	26	25	23	322	27

⑧ 訪問介護事業

〔訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の身体介護や調理、洗濯、掃除等の生活（家事）援助を行うサービスです。〕

約6割が要介護1～要介護2の利用者で、生活援助中心のサービス提供が多い状況でした。体調不良等で入退院を繰り返すケースや、退院後は在宅での生活継続が難しくなるケースも多く見受けられるようになってきました。また、本人・家族の状況によっては施設入所の希望・申込を行い、決定までの間はショートステイ（短期入所）も併せて利用するというケースもありました。

日常生活総合支援事業（要支援1～要支援2）は、認定更新時に要介護に移行となった方や、家族が帰郷・同居となりサービス利用を休止する方もありました。

(1) 訪問介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	40	40	39	40	40	38	38	32	35	34	34	30	440	37
利用回数	484	521	473	544	557	563	601	566	566	551	503	461	6,390	533

(2) 日常生活総合支援事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	18	17	18	17	17	18	18	20	20	20	18	20	221	18
利用回数	109	101	69	92	88	89	89	96	97	71	83	101	1,085	90

(3) 障害福祉サービス（居宅介護）実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	36	3
利用回数	96	55	97	99	99	98	84	114	59	37	15	10	863	72

回数														
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑨ 通所介護事業

〔日帰りで施設に通い、食事や入浴など日常生活上の介護や機能訓練等を行うサービスです。〕

新規利用者は増えてきましたが、要介護3～要介護5の利用者は減少した状況でした。また、利用者の入退院も多く、利用回数は思うような伸びは見られませんでした。

日常生活総合支援事業（要支援1～要支援2）においては、利用者数が増えています。

(1) 通所介護事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	43	42	43	44	44	43	43	42	43	42	41	41	511	43
利用回数	289	292	263	299	230	270	287	248	249	237	256	271	3,191	266

(2) 日常生活総合支援事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	10	11	14	14	13	12	12	14	14	14	13	12	153	13
利用回数	41	46	54	62	40	44	52	56	52	54	45	47	593	49

(3) 主な行事

月	行事名
4月	お花見ドライブ・買い物ツアー・おやつ作り
5月	各種ゲーム
6月	避難訓練・人形劇鑑賞会と地域交流会
7月	小豆はっつ作り（食改協協力）
8月	納涼祭・大雨、洪水災害時避難訓練
9月	敬老会（町内幼稚園、各種ボランティア団体協力）
10月	紅葉ドライブ（釜石大観音参拝）・運動会
11月	紙相撲大会・他
12月	カラオケ・他
1月	福笑い・かるた・みづき団子づくり
2月	ボッチャ・風船バレー
3月	顔ハメ看板記念撮影（雄雛&雌雛バージョン）

ボランティアによる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会（バースデーケーキとプレゼント付き） ・ひまわり会による大正琴演奏 ・颯 2000 の会による読み聞かせ ・傾聴ボランティアひまわり ・個人ボランティア（創作活動） <p>※2 月後半より感染予防対策の為、ボランティア受け入れを自粛。</p>
-------------	--

(4) 運営推進会議

開催日	内容
R1. 10. 12	活動状況報告・その他
R2. 3. 15	活動状況報告・利用者アンケートの結果報告・事業所内自己評価の報告・その他

⑩ 小規模多機能型居宅介護事業

（利用者選択に応じ、施設への「通い」を中心として、必要に応じて短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、3種類の介護サービスを顔なじみのスタッフが行うことにより、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行うサービスです。

利用者の在宅での生活継続・家族の介護負担軽減のため、希望に沿ったサービスの提供に努めてきました。しかし、利用者の入退院、施設入所となり利用契約が終了となったケースもありました。

また、地域密着型サービス事業として、小規模多機能型居宅介護事業所「ハイス こづち」の建設整備を行いました。併せて、令和2年4月の本格的な利用者受け入れに向けて準備を進めました。

(1) 小規模多機能型居宅介護事業実績（ほっと おおつち）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	23	24	23	23	24	25	24	25	25	26	25	25	292	24
利用回数	518	485	468	525	495	509	549	519	59	544	546	541	6,258	522

(2) 介護予防小規模多機能型居宅介護事業実績（ほっと おおつち）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	3	2	2	2	1	1	3	3	3	2	2	2	26	2
利用回数	47	34	28	36	11	13	40	38	40	17	21	23	348	29

(3) 主な行事（ほっと おおつち）

月	行事名
4月	花見ドライブ
5月	チャレンジデー参加・畑作り、種植え

6月	出張演劇鑑賞会・工作
7月	七夕会・芋掘り・高校野球、ラグビー観戦・大雨土砂災害避難訓練
8月	スイカ割り大会・和太鼓慰問
10月	文化祭作品作り・さつま芋掘り・紅葉ドライブ・さんさ踊り慰問・消防訓練
11月	焼き芋焼き・町民文化祭出展・避難訓練（夜間想定）
12月	クリスマス会
1月	みずき団子づくり、正月遊び
2月	節分

(4) 運営推進会議（ほっと おおつち）

開催日	内容
R1. 5. 28	利用状況について
R1. 7. 23	利用状況について
R1. 9. 10	利用状況について・ほっと おおつち収穫祭
R1. 11. 26	外部評価について・利用状況について
R2. 1. 24	外部評価・総括表による意見交換・利用状況について
R2. 3. 18	外部評価（総括表の説明）、利用状況について

⑪ 障がい者就労継続支援事業（B型非雇用型）

（通常の事業所に雇用されることが困難な障害のある方に対し、生産活動などの機会の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練などを行うサービスです。利用者と雇用契約は結びませんが、工賃を支払います。）

支援学校卒業生の受け入れ等により登録利用者は増えています。作業訓練だけではなく季節の行事や町外 B 型事業所の見学を行う等、安定した事業運営に繋がるように努めました。就労支援事業については、受託事業が中心のため、経済情勢等の影響や、利用者の体調・作業の熟練度等により作業量の増減がみられました。そのような中でも、缶詰作業は順調な作業発注がありました。

また、サービスの資質向上のために職員研修を実施しました。

(1) 就労継続支援事業（B型 非雇用型）実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
利用者数	23	24	24	25	25	25	27	27	26	26	25	24	301	25
利用回数	353	307	366	432	338	381	373	368	381	368	327	404	4,398	367

(2) 主な作業

作業名	作業内容
部品組立作業	ネジ穴にマスクという部品を埋め込む。
缶詰作業	缶詰を3缶重ね、フィルムを被せシュリンクする。 缶詰にラベルを貼る。缶詰にシールを貼る。スリーブに缶詰を入れる。
ステッカー等作成作業	カッティングシールを使って、橋野鉄鉱山シール・釜石ラグビーシール等のステッカーを作成し、産直等で販売。
リサイクル作業	「みちのくコカ・コーラ釜石営業所」より空缶を回収し、アルミ缶とスチール缶に分別したうえで資源回収業者に買取してもらう。
その他	上記以外の作業。令和元年度は手提袋の部品取付・シール貼り作業を受託した。
<p>現在休止中の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワカメ作業：剣山を使用して茎を細く裂く（従事する利用者減少により H30.9月～休止中） ・EM ボカシ製造・販売作業：EM 菌を使い、もみ殻と糠を調合してボカシ（肥料）を製造する（需要減少のため H30.9月～休止中） 	

(3) 主な行事

月	行事名
5月	お花見昼食会
11月	地域清掃活動、紅葉ツアー、他事業所見学・研修会（花巻市：ワークまほろば 他）
12月	年末ビンゴ抽選会

◇自立を支える生活支援サービスの質の向上

⑫ 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、平成28～30年度までは、県（沿岸広域振興局）から釜石市社会福祉協議会が委託を受け、大槌町分を本会が再委託を受けて実施していました。令和元年度からは、県（沿岸広域振興局）から直接委託を受けて、本会の「くらし・しごと相談所」が実施している事業です。

相談者の悩みや心配事を相談支援員と一緒に整理し、課題を解決するためのプランをつくり、生活の安定・自立を目指してサポートしています。

年度	新規相談者数	プラン作成件数	就労者数	食料支援件数
H29	54件	26件	8件	15件
H30	40件	37件	5件	35件
R1	34件	33件	3件	34件

○おしゃっち食堂

町内中・高校生を対象に、「おしゃっち食堂」として軽食を提供しながら居場所づくりに取り組みました。

開催期間：令和元年7月～令和2年2月（毎月2回開催）

※3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

会場：大槌町地域交流センター おしゃっち

共催：大槌町、大槌町民生委員児童委員協議会

協力：大槌町食生活改善推進員連絡協議会

利用者：延べ339人（うち中高生143人）

⑬ 新しい総合事業

町が設置した「大槌町生活支援・介護予防サービス協議体」に2名の職員が委員として参加しており、地域の眠った力を掘り起し、多種多様なサービスを構築できるよう進めています。

今後、高齢者の生活を地域全体で支援する取組みをどう実現していくかが課題です。

⑭ たすけあい金庫貸付事業

生活費や医療費等に困窮している世帯に対し、生活の安定を図ることを目的に5万円を上限に貸付けを行いました。

(1) 令和元年度の貸付利用状況

貸付件数	貸付金額	償還金額	残額	償還完了件数
5件	140,000円	105,000円	35,000円	4件

(2) これまでの貸付利用状況（令和元年度を含む）

年度	貸付総件数	貸付累計額	償還完了件数	償還累計額	貸付中の件数	貸付金残額
H24～R1	61件	2,410,000円	49件	2,006,000円	12件	404,000円

⑮ 生活福祉資金貸付事業 * 県社協の委託事業

資金種別	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	0件	0円
福祉資金	0件	0円
教育支援資金	3件	3,697,000円
緊急小口資金	1件	72,000円
特例貸付（新型コロナ）	1件	200,000円
生活復興支援資金	0件	0円
計	5件	3,969,000円

基本目標5 地域福祉を推進するための基盤づくり

① 事務局組織体制の連携強化

② 財政基盤の充実

寄附金・義援金

町民をはじめ、全国の団体・企業から、寄附金等が寄せられました。

区分	寄附金		寄附物品
	件数	金額	件数
団体・企業	19件	581,676円	8件

③ 基金運用の効率化

まごころ福祉基金

福祉活動事業の財源確保と本会事業の財政安定を図るため、まごころ福祉基金を設置しております。(R1.3.31現在)

目標額	今年度積立額	保有額
40,000,000円	277,742円	33,521,861円

④ 理事会・評議員会の運営

(1) 理事会

開催日	報告及び審議事項	出席者	欠席者
R1.6.5	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告について 平成30年度収支決算について 小規模多機能型居宅介護事業所の建設整備計画の実施について 小規模多機能型居宅介護事業所建設に係る土地の賃貸借契約について 理事及び監事の選任について 評議員会の招集について 	10名	1名
R1.6.27	<ul style="list-style-type: none"> 会長、副会長及び常務理事の選定について 令和元年度大槌町社会福祉協議会資金収支補正予算について 評議員会の招集について 	14名	0名
R1.10.8	<ul style="list-style-type: none"> 小規模多機能型居宅介護事業所建設に係る入札方法の決定及び指名業者の選定について 	11名	3名
R2.2.21	<ul style="list-style-type: none"> 大槌町社会福祉協議会「ハイス こづち」運営規程の制定について 	12名	2名
R2.3.16	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度大槌町社会福祉協議会資金収支補正予算について 令和2年度大槌町社会福祉協議会事業計画について 令和2年度大槌町社会福祉協議会資金収支予算について 評議員会の招集について 	12名	2名

(2) 評議員会

開催日	報告及び審議事項	出席者	欠席者
R1.6.24	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告について 	13名	5名

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度収支決算について ・小規模多機能型居宅介護事業所の建設整備計画の実施について ・小規模多機能型居宅介護事業所建設に係る土地の賃貸借契約について ・理事及び監事の選任について 		
R 1. 7. 5	・令和元年度大槌町社会福祉協議会資金収支補正予算について	9 名	8 名
R 2. 3. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度大槌町社会福祉協議会資金収支補正予算について ・令和 2 年度大槌町社会福祉協議会事業計画について ・令和 2 年度大槌町社会福祉協議会資金収支予算について 	13 名	4 名

⑤ 監査の定期的実施

開催日	内容
R 1. 5. 23	平成 30 年度第 4 四半期出納調査及び平成 30 年度決算監査
R 1. 8. 7	令和元年度第 1 四半期出納調査
R 1. 11. 7	令和元年度第 2 四半期出納調査
R 2. 2. 13	令和元年度第 3 四半期出納調査

⑥ 社協会員加入運動の推進

全戸加入運動（社協会費）

年度	既存世帯数	加入世帯数	金額	加入率
H29 年度	4, 8 5 8 世帯	3, 6 8 9 世帯	1, 8 4 5, 8 0 0 円	7 6 %
H30 年度	4, 9 0 0 世帯	3, 7 0 4 世帯	1, 8 5 1, 0 0 0 円	7 6 %
令和元年度	4, 6 2 2 世帯	3, 7 3 1 世帯	1, 8 5 8, 5 0 0 円	8 0 %

⑦ 共同募金委員会の運営

⑧ 民生委員児童委員協議会の運営

⑨ 関係機関及び団体との連携強化

老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会、身体障害者福祉協議会、遺族会、ことばを育む親の会、手をつなぐ親の会